

12月18日付 FISA Circular No. 9 of 2002 第1項部分の和訳

オリンピックプログラム委員会提案の軽量級除外の問題について

大変喜ばしいことに、11月26日に開かれたIOCの理事会では、先にプログラム委員会が提出したオリンピック競技での体重別クラス分けは、格闘競技と重量挙げにだけ適用するとの方針の変更が可決されましたことお知らせします。

IOCの新しい方針は次の通りです。「例外として既に施行されている体重別競技以外には、身体的な区別を設ける競技種目はつくらないこととする。」

この方針によって、既に現存する競技種目を、体重別だけでなく身長別の競技種目をもオリンピックプログラムに取り入れることを要望してくる競技団体に対して、そのような要望を認めないとするを可能にします。これは、ボートの軽量級3種目はIOCの方針により保護されていることになりません。

理事会の数日後に開かれたIOCの総会で、上記理事会の決定が承認されました。このことは、私たちのボート競技の発展とボート競技を一層普及させようとする私たちの努力が勝利したものと云えます。

競技そのものと各競技の種目の問題について、IOCの理事会は、引き続きプログラム委員会の提案内容を十分に精査していくことになりましょう。

既にIOCの内輪では議論されてきたので、軽量級種目につきましては今や問題にされるリスクはほとんどないでしょう。何故ならこの決定は、同じ理事会そのものが下すのでありますから。しかしながら、IOCはオリンピック大会後いつもそれぞれのスポーツ競技について分析見直しをしてきましたが、これからは今まで以上にプログラムの調整を図っていくことになりましょう。オリンピックにおけるボート競技の種目と参加人数を減らそうとする圧力は絶えず出てくるでしょうから、私たちは、このスポーツを振興させ発展させるための努力をし続けなければなりません。同時に軽量級種目を取り入れたオリンピック種目の組み立てを反映させるよう努力しなければなりません。また同時に私たちはボートの重量級と軽量級の共通の種目の問題についてもよく考えてみる必要があると考えています。

